



リコーインダストリアル
ソリューションズ株式会社



— [会 社 概 要] —

デジタルカメラやオフィス機器で知られるリコーグループの一員として、産業用の小型コンピュータを開発・製造しています。工場のロボットや機械を動かすコンピュータでは国内トップクラスのシェアを誇り、年間約40万台を生産。最近では、手のひらサイズのコンピュータや、AIカメラを使った検査システムなど、デジタル技術を活用した新しい製品づくりに挑戦しています。

会社名：リコーインダストリアル
ソリューションズ株式会社

業種：製造業

場所：〒680-1172
鳥取県鳥取市北村10番地3

会社HP



Instagram



【企業をひとことで(誰に向けて・何を提供している会社か)】

誰に? : 工場の生産設備・ロボット、病院の画像診断装置、駅の券売機など、
私たちの暮らしを支える様々な機器のメーカーに
何を? : 機器の制御を担うコンピュータや電子機器の開発・製造・サービスを
提供している

経営者インタビュー

【経歴】

1986 年に入社し、リコー中央研究所で基礎研究からスタートしました。その後、CD-R/DVD の事業企画・営業を経て、デジタルカメラ事業の戦略・販売を担当しました。2016 年からはフィリピンでの海外赴任を経験し、2020 年より現職として鳥取事業所に着任しています。

【学生時代に何を学んでいましたか? また、その経験は現在どのように活かしていますか?】

大学では物理学科で学びました。実は当時、電機メーカーへの就職を決めた時、「物理の知識が本当に役立つのかな」と不安もありました。でも実際に入社し、研究所で働く中で、「なぜそうなるのか」を考え、議論する物理の考え方が、様々な場面で活かしていることに気づきました。この経験は、今の組織運営や意思決定にも大いに役立っています。

【リコーグループの中でエレクトロニクス事業の特徴を教えてください。】

私たちが開発・製造しているコンピュータは、工場の設備や医療機器の中で使われる特殊なものです。一般のパソコンは数年で買い替えますが、これらの機器は 10 年、20 年と使い続けられます。そのため、製品を売って終わりではなく、お客様と長く付き合っていくことが大切です。開発から製造、保守まで一貫してサポートできる体制を整え、お客様の困りごとに一緒に取り組んでいくのが私たちの強みです。

【SDGs への取り組みについて教えてください。】

リコーグループは環境問題に早くから取り組んできた企業です。鳥取事業所では、工場での CO2 削減はもちろん、地域に根ざした活動も大切にしています。例えば、鳥取砂丘の一部エリアの清掃活動を受け、地域の皆さんと一緒に環境保全に取り組んでいます。また、子ども食堂への支援や、緊急医療用ヘリコプターの離着陸場所の提供など、地域に役立つ活動も行っています。社員一人一人が「自分にできることから始めよう」という意識で取り組んでいます。



役職：取締役執行役員
エレクトロニクス事業部長
なかざわ まさし
中澤 政志さん

【就活を控える学生へのアドバイスをお願いします。】

「この分野しかできません」と限定せず、いろいろなことにチャレンジしてほしいと思います。私自身、研究開発からスタートし、商品企画や営業、海外勤務など、様々な経験をさせてもらいました。その中で気づいたのは、専門的な知識も大切ですが、それ以上に「経験から学んだ知恵」が重要だということです。アルバイトやサークル活動など、学生時代にしかできない経験も、必ず仕事に生きてきます。



社員インタビュー



八木 良太さん

入社歴：入社7年目
所属：エレクトロニクス事業部 生産管理・資材部
出身：兵庫県出身

＼＼Ｑ 入社を決めた理由を教えてください。／／

大学院での研究が忙しく、就職活動に十分な時間が取れない中、教授から紹介を受けたのがきっかけでした。会社見学で福利厚生が充実していることを知り、自分の技術を活かせる環境だと感じて入社を決意しました。

＼＼Ｑ 入社後、特に苦労されたことは何ですか？／／

報連相の重要性を痛感しました。大学時代と違い、会社では上司への報告や相談が欠かせません。きちんと報告できていないと仕事が予定通り進まなくなってしまう。その経験から、今では細かな状況変化も上司に共有するように心がけています。

＼＼Ｑ 大学院で学んだことは、現在の仕事にどのように活かしていますか？／／

論理的な思考力が一番活かしていると感じます。研究で培った「なぜそうなるのか」を考える習慣は、生産管理の業務でも大いに役立っています。また、英語の論文を読む機会が多かったことで、日常の業務にて英語を読み書きする場面があってもそこまで抵抗を感じずにいられます。

＼＼Ｑ 学生へのアドバイスをお願いします／／

学生時代は時間がたくさんあります。その時間を使って、いろいろなことにチャレンジしてください。知識は無駄になることはありません。また、この時期にしか築けない純粋な友情を大切にしてほしいと思います。利害関係のない友人関係は、社会人になってからの大きな支えになります。



友重 貴洋さん

入社歴：入社7年目
所属：エレクトロニクス事業部 生産室 製造技術グループ
出身：鳥取県出身（鳥取大学工学部卒業）

＼＼Ｑ 入社後、特に苦労されたことは何ですか？／／

鳥取県内企業のイベントに参加した際、社員の方々との雰囲気が特に良く、機械系の知識を活かせる仕事があることを知りました。また、残業が少なく、働き方に融通が利く点も魅力に感じ、すぐに志望を決めました。

＼＼Ｑ 社内の雰囲気はどのような感じですか？／／

話しやすい雰囲気です。社内イベントも多く、去年は地引網やしゃんしゃん祭りにも参加しました。特に印象深いのは、業務時間後に先輩方と一緒に祭りの踊りの練習をして、その後みんなで盛り上がったことです。仕事以外での交流も多く、とても働きやすい環境だと感じています。



＼＼Ｑ 学生へのアドバイスをお願いします／／

「やろうかどうか迷ったら、まずやってみる」。それが私からのアドバイスです。学生時代は失敗を恐れずにチャレンジできる貴重な期間です。研究室での経験や人との出会いは、今の仕事にも意外な形で活かしています。様々なことに挑戦しながら、かけがえのない仲間を見つけてください。



学生インタビュー



定平紗依さん 地域学部 2 年

「リコー」といえばプリンターやカメラのイメージがありましたが、実際に訪れてみると、最先端の「工場」や「技術センター」としての側面が非常に力強く感じられました。製品工程の見学では、自動化や省力化技術の導入が進み、“現代に即した工場”という印象を受けました。社員の方々のお話からも、一人ひとりが責任感を持って仕事に取り組んでいることが伝わり、単に「製品を作る」だけでなく、多くの技術や努力、そして人々の協力が背景にあることを改めて実感しました。

吉村好生さん 農学部 3 年

リコーインダストリアルソリューションズを訪問し、精密な光学製品の製造工程を見学しました。特に精密機械の組み立てラインは普段私たちの目に見えない技術力が多くあり驚いた。また、社員の方々の懇談会では、仕事に対する熱意や、働きやすい環境づくりへの取り組みについて伺うことができ、良い印象を持ちました。今回の訪問を通じて、私はモノづくりの現場で活躍したいという気持ちがより一層強くなりました。

